令和８年５月２１日
九州地方整備局
武雄河川事務所

出水期を前に牟田辺遊水地の合同操作訓練を実施します

牟田辺遊水地は、牛津川で大きな洪水が発生した場合に、洪水の一部を一時的に貯めることにより、牛津川下流の洪水被害を軽減する施設です。

令和３年８月の豪雨では遊水地に約７５万m^3の洪水を貯留し、下流河川の水位を約30cm低下させました。

一方で、牟田辺遊水地は、日頃は田畑として利用されており、洪水時に牛津川の水が流入すると、遊水地内の道路が冠水することとなります。

出水期を迎えるにあたり、関係機関との合同で出水時に行う遊水地内の道路通行止め及び越流堰倒伏等の訓練を実施し、現地での実際の動きを確認することにより、洪水時の迅速な対応に備えます。

１　日　　時：令和８年５月２５日（月）１３時３０分～（２時間程度）

２　場　　所：牛津川　牟田辺遊水地（多久市南多久町牟田辺地先）
※別紙１　位置図参照

３　訓練内容：道路通行止め、河川情報表示・スピーカー放送の動作確認等
※別紙２　合同操作訓練次第参照

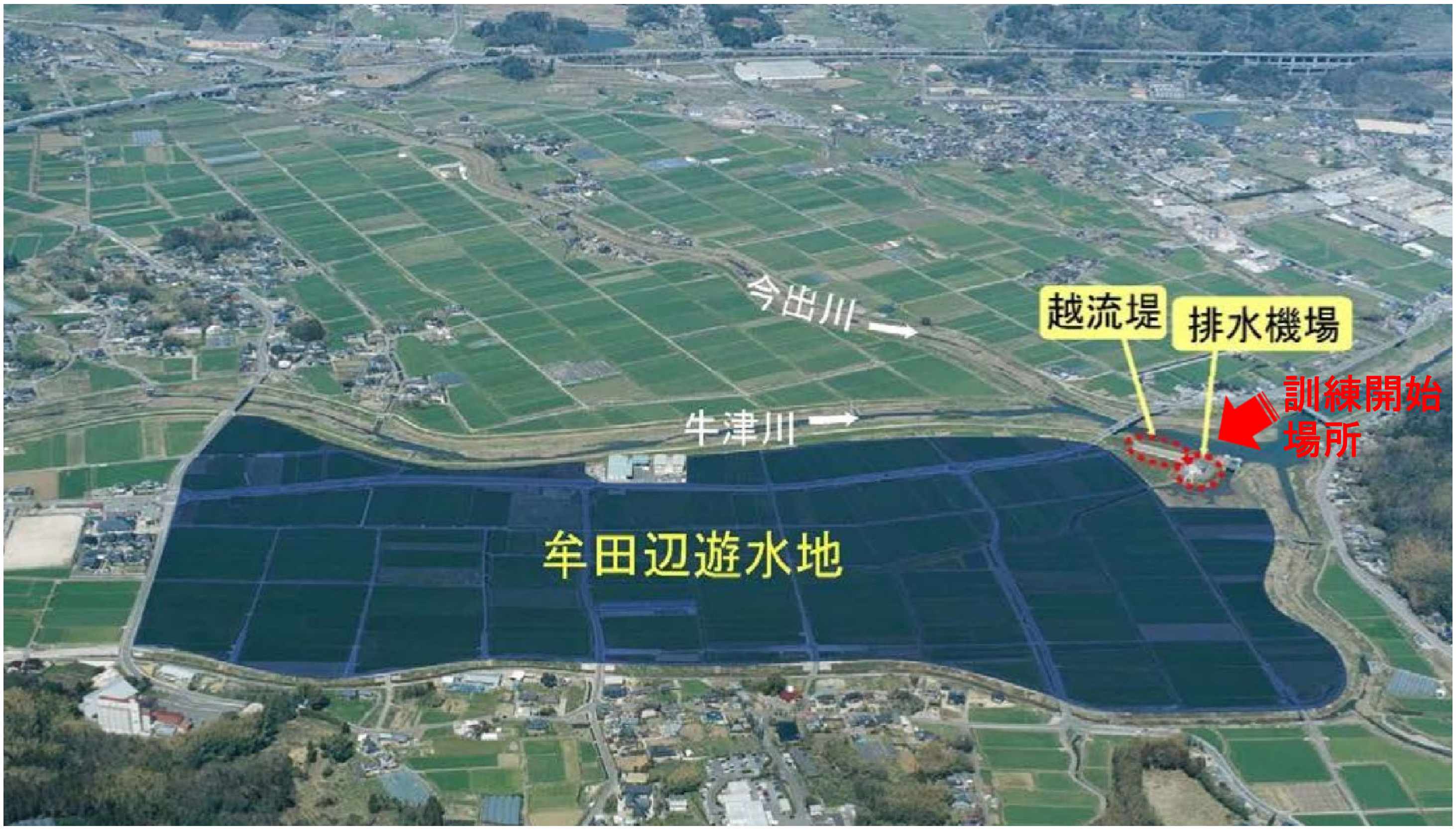
４　関係機関：武雄河川事務所
佐賀県（佐賀土木事務所）
多久市
災害時協力会社（モロドミ建設(株)）

【問合せ先】
国土交通省　九州地方整備局　武雄河川事務所
技術副所長　工藤　雄一
管理課長　宮久　公夫
専門調査官　北尾　和博
ＴＥＬ：０９５４－２３－７９３４（直通）

【位置図】

別紙1

山犬原
多久原ＩＣ
203
多久IC
東多久駅
渋木
中多久駅
古賀山
訓練開始場所
牟田辺排水機場
南多久町下多久
牛津川
牟田辺遊水地
羽佐間
県道25号
南多久町長尾
200
牟田辺
瓦川内
県道35号
谷下
東多久町納所



今出川
越流堤
排水機場
訓練開始場所
牛津川
牟田辺遊水地

別紙2

合同操作訓練次第

①　開　会

②　挨　拶

③　訓練内容説明

④　訓練開始

・巡視経路の確認（２班体制）

・通行止め完了までの所要時間の確認

・通行止め作業手順確認等

⑤　情報表示装置及びスピーカ放送装置の動作確認

⑥　越流堰倒伏の動作確認

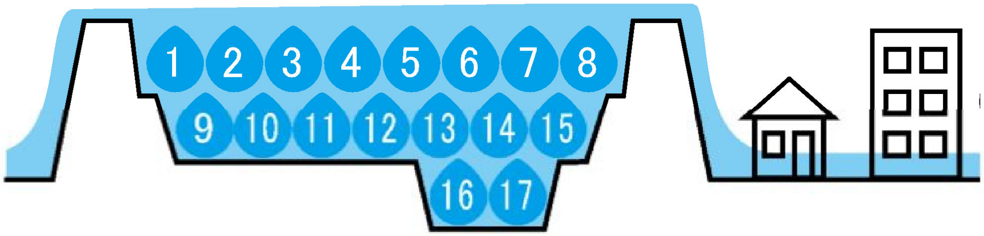
⑦　訓練まとめ

⑧　閉　会

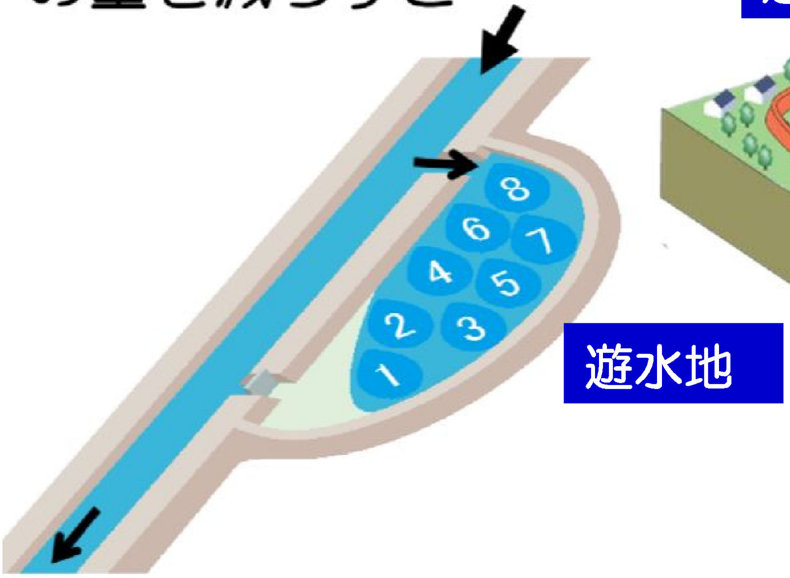
【参考資料】

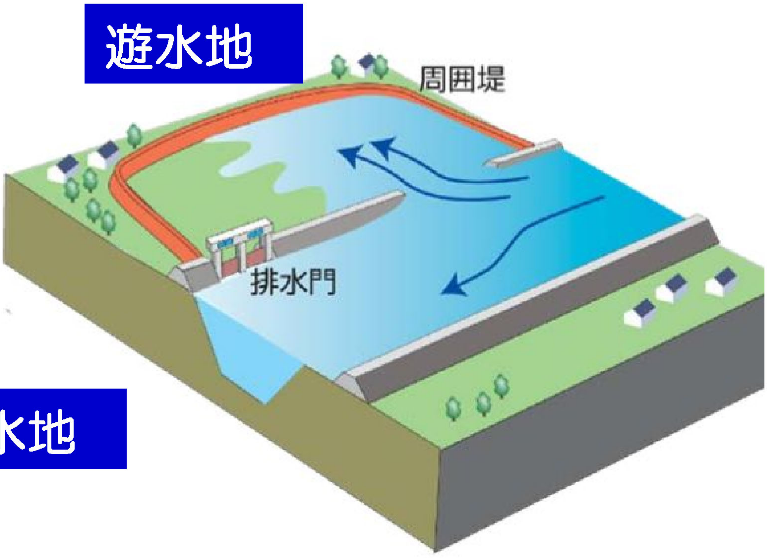
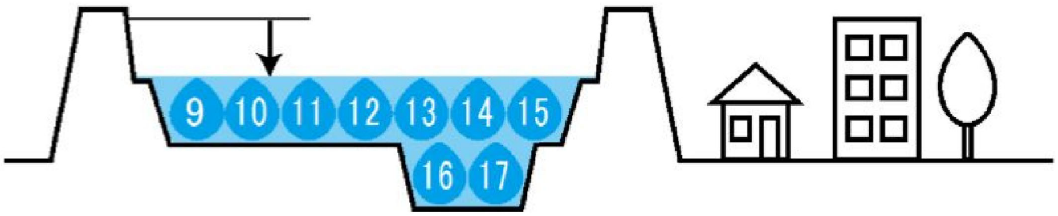
洪水を防ぐ工夫：遊水地

川の水があふれて、洪水になります。



流れる水の一部を遊水地に貯めて、流れる水の量を減らすと





流れる水の高さが低くなり
洪水を防ぎます。